

釜石市のアーカイブス活動



平成24年7月6日 石巻シンポジウム
釜石市 危機管理監 防災危機管理課
アイアン・ハート



釜石市・アーカイブス活動 － 目的と体制 －

＜アーカイブスの主な目的＞

－失われる前、忘れる前に、いま集められるものは集める、撮れるものは撮っておくという姿勢で、記録・収集に努める。

- * 震災メモリアル・パーク(仮称)での展示、震災誌(仮称)の発行に向けて、記録・収集。
- * 3月11日に発生した東日本大震災による壊滅的な悲劇を二度と繰り返すことがないように、記録と記憶を次世代に受け継ぐ。
- * 得られた教訓・知見等を地域防災計画等に反映。住民の安全・啓発等に活かす。
- * アーカイブス活動を通して、コミュニティの再生、地域の連携・支援をうながす。

＜体制＞

- * 2011年7月から現防災危機管理課の緊急雇用にて開始。現在は6人体制(名称「アイアン・ハート」)。
- * 現在釜石市では、それぞれの部局で必要なアーカイブスを記録・活用する目的で、全庁対応の委員会設置を目指している。

釜石市・アーカイブス活動 ー利活用とコンテンツの種類ー

＜収集を試みているコンテンツの種類＞

- * 今しか記録することができない震災時の映像・写真、行動、人々の記憶・想い、教訓等
- * 復旧・復興過程ー想い、活動、営み等の記録
- * 被災した地域の民俗文化等記録の収集
- * その他、津波避難場所の現状調査等

＜利活用の方針＞

- * 地域の財産として有効かつ適切に管理をする一方、より多くの方の目に触れる形での利活用を目指す。

釜石市・アーカイブス活動 ー主要プロジェクトー

<主要プロジェクト>

○公開；(現在のところ)ウェブ、eコミマップ、youtube、現地での展示・発表会等
311まるごとアーカイブス 釜石市トップページ>> <http://311archives.jp/hp/kamaishi-city>

○データの種類；テキスト、写真、音声、映像(可能な場合)

1. 「被災者の声映像化事業」 ※防災科研と協働
2. 被災した地域の民俗文化の記録・取り組みの紹介
3. 社会的な役割等を担う方への定期的なインタビュー(実施予定)
4. アーカイブスを担う人材の育成・地域内外の連携(実施予定)
5. 大町・大渡地区等の住民の当時の行動・避難ルートを記録
6. 復興に向けた取り組み、地場産業、地域の催し、イベント等の記録・紹介
7. 当時の津波等の写真・映像
8. 市内定点撮影(100箇所以上)・まちなか随時撮影
9. 「津波避難場所踏査」